

# 【様式2】B案

学士教育プログラム名称  
観光学 学士教育プログラム

	URGCC学習教育目標	自律性	社会性	地域・国際性	コミュニケーション・スキル	情報リテラシー	問題解決力	専門性	
	URGCC学習教育目標	自分自身が掲げる目標の達成に向けて、自律的に学習し行動することができる。	市民として社会の規範やルールを理解し、倫理性を身につけ、多様な人々と協調・協働して行動できる。	地域の歴史と自然に学び、世界の平和及び人類と自然の共生に貢献することができる。	言語(日本語と外国語)とシンボルを用いてコミュニケーションを行い、自分の考えや意思を明確に表現することができる。	幅広い分野の情報や知識を多様なチャネルから収集し、適切に理解した上で取捨選択し、活用することができる。	批判的・論理的に思考するとともに、これまでに獲得した知識や経験等を総合して問題を解決することができる。	専攻する学問分野における思考法、スキル、知識等を体系的に身につけ、活用することができる。	
学士教育プログラム学習教育目標	地域及び広く社会に貢献できる能力	○	○	○			○	○	
	(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由) 観光科学科の教育を通して、地域社会に貢献するには、リーダーとしての資質である自律性、社会性を身につけておくことが必須である。さらに地域貢献を実践に移すためには、その地域に関する知識や国際的な位置づけや特徴を十分認識しなければならない。それらは基礎条件であり、その上に専門的知識を踏まえ問題解決能力を修得した人材を育成しようと考えているため。								
	外国語運用能力と国際感覚を有し、国際社会で活躍できる能力			○	○	○	○	○	
	(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由) 国際社会で活躍するには、コミュニケーション・スキル(語学能力)及び国際感覚を身につけた人材である必要がある。さらに、国際社会では、情報リテラシーの修得は当然であり、それに加えて高い専門性がある、はじめて異文化の中で外国人と対等に仕事ができるのであり、そのような人材育成を目指しているため。								
	(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由)								
(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由)									
(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由)									